

汚れ／雨シミの清掃方法

再生木材は長期間清掃しないままにしておくとも汚れが落ちにくくなるのみならず、シミが発生することがあります。汚れがひどくなる前に定期的に清掃をお願いします。また、天然の木粉を含んでいるため、設置当初は雨で木の成分が溶出して水で洗い流すだけでは取れない雨シミが発生することがあります。また、軒下などで、雨が吹き込みにくい場所に設置された場合、雨に当たるところと当たらないところの境界で雨シミができる場合があります。雨シミは時間が経過すると徐々に発生しにくくなりますが、設置当初は目立つ場合があります。雨シミが気になる場合は、以下の方法で清掃を行ってください。

■準備するもの

- ・中性洗剤
- ・スポンジ、雑巾
- ・洗浄のための水（バケツなどに水を入れて用意）
- ・不要になった歯ブラシまたはブラシ（場合によっては使用）

※金属製ブラシは表面に傷をつけますので、お避けください。

■汚れの清掃方法

- ①再生木材の面を水で流し、砂や泥を軽く流します。
- ②スポンジを水に浸し、軽く水をしぼり、中性洗剤をつけます。
- ③再生木材の表面をスポンジでこすり、泡立て、汚れを落とします。
- ④汚れのひどい場合は、歯ブラシやブラシでこすってもかまいません。
- ⑤洗剤を水で洗い流し、きれいな雑巾で水気をふき取り、乾かします。

■雨シミの清掃方法

- ①スポンジを水に浸し、軽く水をしぼり、中性洗剤をつけます。
- ②雨シミの部分に水を浸すように、すこし強く擦ります。
- ③雨シミが取れにくい場合は、中性洗剤を多めにつける、もしくは強めにこすると効果的です。
- ④表面の凹凸の関係上、雨シミが落ちにくい場合は、歯ブラシやブラシで粗した目に沿ってこすると落ちやすくなります。
- ⑤きれいな水で洗浄部まわり全体を洗い流した後、きれいな雑巾で水気をふき取ります。

キズのお手入れ

再生木材は塗装のように少しの傷で下地まで傷が到達することはありません。浅いすり傷がついた場合は、サンドペーパーなどで削って目立たなくすることができます。

■キズをサンドペーパーで修復する方法

- ①60番程度のサンドペーパーで傷が目立たなくなるまで目に沿って表面を薄く削ります。強く何度も擦ると基材部の黒い色が出てきますので、削りすぎに気を付けてください。
- ②水を浸した布などで表面を拭きます。
- ③削った跡が多少白っぽい場合は周りを含めてサンドペーパーで同じ方向に筋目をつけます。